

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年	第1学年	類型	
単位数	2単位	教科書	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）				
補助教材	・家庭科ノート（愛媛県高等学校家庭科教育研究会） ・調理実習ノート基礎編（愛媛県高等学校家庭科教育研究会）						

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第1章 生涯を見通す	各ライフステージの特徴と課題について学び、男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性について考える。 家族・家庭に関する基礎的な法律を知り、現在の動きを把握する。また、家事労働、職業労働、ワーク・ライフ・バランスについて考える。 子どもの発達段階を知り、愛着の形成と親としての成長を理解する。児童福祉の理念を理解し、子育て支援の現状を学ぶ。高齢化社会の現状と課題についても学ぶ。	期末考査
	5月	第2章 人生をつくる		
	6月	第3章 子どもと共に育つ		
	7月			
2 学期	8月	第4章 共に生き、共に支える	一生を通じた福祉や社会的支援の必要性を知り、社会保障制度の理念と内容を理解する。 日常の食生活を振り返り、食生活の変化や課題について理し、日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について、科学的に学習し、基本的な調理技術も学ぶ。 被服の様々な役割を整理し、被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味を学ぶ。 住居の機能や間取りについて理解し、ライフステージに合った住居を考える。	期末考査
	9月	第5章 食生活をつくる		
	10月	第6章 衣生活をつくる		
	11月	第7章 住生活をつくる		
	12月			
3 学期	1月	第8章 経済生活を営む	生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージごとのポイントを学ぶ。 これまでの学習を踏まえて、キャリアの視点から生涯の生活設計に必要な要素をまとめ、自分の目指すライフスタイルを考え、高校卒業後の生活設計を考える。	学年末考査
	2月	第9章 生活を設計する		
	3月			

学習の方法	講義、ワークシート、実習、体験的な活動、グループ活動、発表など、様々な学習形態を通して、実践的、体験的に学習する。 ホームプロジェクト（課題）や家庭クラブ活動により、生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践し、科学的に探究したり、問題解決を図ったりする。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解をし、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養っている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとし、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養っている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査、実習、ノート・課題の提出状況、授業態度、作品、取組状況などを総合的に評価する。		